



稲穂のライティングダンス。
カルデラに広がる豊作の秋景色。

撮影 宮井 政次さん

阿蘇郡一の宮町の
かげぼ
陰乾し
阿蘇のカルデラ内には七、七〇〇
ヘクタールの田が広がっている。
昔は、「千枚田」といって、小さな
田がモザイク絵画のように入り組ん
でいたそうだが、今では、ほ場整備に

より、すっかりその姿を変え、鮮や
かな基盤格子模様を見せている。
最近では、コンバインで米を刈り
取り、機械で乾燥させる農家が多く
なって来たが、ここ一の宮町手野地
区には、まだ、今までの習慣を惜し
むかのように「陰乾し」による自然
乾燥を続けている所がある。時間を
かけて乾燥させた米はおいしく、人
気があるからだ。
今年、県内の農村はどこも豊作だ
という。田一面に「陰乾し」が並ぶ
頃、手野地区の人々はやっと農作業
から開放され、冬仕度を急ぐ。

